



〔指揮〕 **米津俊広**

Conductor *Toshihiro Yonezu*

1972年愛知県生まれ。東京音楽大学にて指揮を患上淳一、紙谷一衛各氏に師事。またイタリア、オーストリア、ハンガリー、ポルトガルなど、ヨーロッパ各地で行われた指揮マスターコースに参加。イサーク・カラプチェフスキー、イストヴァン・デネシュ、アレクサンダー・ポーリシュク各氏に師事した。

東京音楽大学在学中より指揮活動を開始。日本各地のオーケストラ、オペラ等の客演を重ね、2006年、スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督ジョージ・ベリヴァニアン氏の推薦により同管弦楽団のアシスタントコンダクターとして渡欧、2010年まで研鑽を積んだ。

2006年11月、スロヴェニア・フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会「モーツァルトプログラム」を指揮してデビュー。その後同オーケストラの客演を重ね、翌年には、急病の故ミラン・ホルヴァート氏の急病の代役として急遽抜擢され定期演奏会に登場。その鮮烈な定期演奏会デビューは、現地での新聞、ラジオでも紹介された。またこれまでにリエカ・フィルハーモニー管弦楽団（クロアチア）、リュブリャナ音楽アカデミー管弦楽団（スロヴェニア）、サラエボ・フィルハーモニー管弦楽団、スロヴェニア国立放送交響楽団、マケドニア・フィルハーモニー管弦楽団、オルテニア・フィルハーモニー管弦楽団（ルーマニア）、日本フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、浜松フィルハーモニー管弦楽団などに客演している。

2008年、第28回マスタープレイヤーズ国際音楽コンクールの指揮部門にて、最高位並びにブルーノ・ワルター賞（Best Conductor & Bruno Walter Prize）を受賞。2009年にはスロヴェニアで活躍する外国人に贈られる賞「Guest star 2008」の文化部門の4人にノミネートされた。また同年イタリア、ト

リエステで行われた、「第1回ヴィクトル・デ・サバタ国際指揮者コンクール」にてファイナリスト3名に選ばれ、翌年にはロンドン・フィルハーモニー管弦楽団事務局長の推薦により「アリアンツ指揮者アカデミー」のアカデミー生候補者としてノミネートされた。

現在東京音楽大学講師。平成19年度、文化庁新進芸術家海外留学制度研修員。



NPO法人  
**静岡フィルハーモニー  
管弦楽団**

*Shizuoka Philharmonic Orchestra*

静岡フィルハーモニー管弦楽団は1977年9月に静岡市を中心とするアマチュア音楽愛好家によって創立。定期演奏会を中心に年間5回程度の演奏会を行い、これまでの公演回数は190回を超える。この間、海外交流文化親善使節として、1986年の中国公演（北京、杭州）を皮切りに、1989年アメリカ（オマハ、ボストン）、1992年フランス（カンヌ）・オーストリー（ウィーン）、2001年イギリス（バーミンガム、ロンドン）、2007年イギリス（コベントリー、ロンドン）、2012年中国（杭州）で公演し好評を博した。また、2015年には静岡市・オマハ市の姉妹都市提携50周年記念事業のメインイベントとしてアメリカ・オマハ市で現地のプロオーケストラ、オマハ・シンフォニーとジョイントコンサートを開催し高い評価を得た。創立以来、国内外で活躍する著名な指揮者やソリストと共演を重ね、常に質の高い音楽づくりを目指してきた一方、地域の合唱団、バレエ団等との本格的なオペラ公演、バレエ公演も数多く行ってきた。また、テーマを定めた特別演奏会や室内楽コンサートも開催しているほか、地域貢献活動として様々な施設に音楽を届ける「音楽の花束」事業も積極的に展開している。1987年度静岡県文化奨励賞受賞。団員数95人。